

令和5年度 自殺対策に関する主な取組実績

（令和6年3月25日現在）

精神保健課・こころの健康センター

【支援者向け研修】

庁内外の相談窓口・相談機関に向けた「相談機関研修」や、警察署、救急隊、救急告示病院等に向けた「自殺未遂者ケア研修」、主に市内の内科医等の医師を対象とした「かかりつけ医うつ病対応力向上研修」等の研修を実施。

実施日	対象	内容	方法	受講者数
令和5年7月11日	庁内支援機関	自殺対策及び精神疾患の基礎知識並びにHCとの連携について	対面	46
令和5年12月15日	市内救急告示病院 救急隊 等	自殺リスクのアセスメントや支援する際のポイント等	対面及び オンライン	27
令和5年12月18日	庁内支援機関	自殺対策及び精神疾患の基礎知識並びにHCとの連携について	対面	16
令和5年12月22日	基幹型包括 支援センター	自殺対策や支援における連携について	対面	16
令和6年1月30日	内科医等	うつ病の基本的知識	対面	25
令和6年2月6日	市内支援機関支援者	子どものエンパワメントや自殺を防ぐ関わり等	対面	34

【ゲートキーパー研修】

本市自殺対策の重点施策の一つとして、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る「ゲートキーパー」研修を実施。

また、ゲートキーパーの「つなぐ」という役割については、「相談機関一覧（悩み相談）」の周知も研修内に組み込み、併せて啓発を実施。

特に9月（自殺予防週間）、3月（自殺対策強化月間）には、研修の周知を強化した。

実施日	対象	方法	受講者数
令和5年4月25日	地域包括支援センター職員	オンライン	16
令和5年5月12日	こころの健康センター職員	対面	12
令和5年6月25日	家族SST交流会	対面	25
令和5年8月25日	Littoスタッフ(堺市学習と居場所 づくり支援事業)	対面	18
令和5年9月12日	市民等	対面	42
令和5年9月1日-9月30日	市民、市職員及び庁外関係機関	動画配信形式	152
令和5年11月8日	関西大学の学生	対面	113
令和5年11月8日	三国丘高校(定時制の課程)教職員	対面	16
令和5年11月21日	帝塚山学院大学 特別支援教諭養成課程学生	対面	14
令和5年11月30日	南区民生委員	対面	102
令和5年12月25日	南区高齢者関係者会議	対面	21
令和6年1月9日	中区高齢者関係者会議	対面	16

令和6年3月	市民等	対面	—
令和6年3月1日-3月31日	市民、市職員及び庁外関係機関	動画配信形式	—
令和5年11月より随時	救急隊	DVD視聴	—

○堺市ホームページにおいてゲートキーパー研修動画の常時公開を実施（令和5年11月より）

- ・堺市内薬局の薬剤師及び登録販売者に対して動画研修の周知を実施。
- ・教育センターが実施している教員向け研修の際に、動画研修の周知を実施。

【職域連携推進事業】

自殺者が多いと言われている勤労者層に向けて、メンタルヘルスの知識を普及・啓発し、相談・受診につなげるきっかけとすることを目的に、市内事業所の経営者や労務担当者等を対象とした研修を実施。

＜メンタルヘルス対策セミナー＞ ※堺商工会議所主催、堺市共催

日時：令和5年12月7日（木）実施 受講者数：61名（会場16名、オンライン45名）

講師：(同)職場のメンタルヘルス研究所 松村 一矢 氏

＜事業所のメンタルヘルス推進担当者研修会＞ ※大阪府主催、堺市協力

日 時：令和5年10月4日（水）、令和6年3月6日（水）

受講者数：10月実施 ⇒ 235名（会場59名、オンライン176名）

3月実施 ⇒ 189名（会場87名、オンライン102名）

内 容：①企業のリスクマネジメントとコンプライアンス、安全配慮義務

②メンタル不調者の対応及び復職について

③職場のメンタルヘルス対策とストレスチェック制度

④職場環境改善（コミュニケーションの取りやすい職場づくりのために）

【普及啓発】

＜自殺予防週間（9月10日～16日）、自殺対策強化月間（3月）の啓発活動＞

- ・各区役所にて懸垂幕の掲揚、市役所にてパネル展示、ポスター掲示、デジタルサイネージの実施
- ・ホームページへの掲載及び堺市公式 SNS への投稿
- ・SNS（広報課公式 X、Facebook、LINE）、おおさか健活マイレージアスマイル（アプリ）での啓発

＜相談機関一覧（悩み相談）の周知カードとポスターの配布＞

配布等を通じた啓発、広報媒体（SNS、HP、報道提供、広報さかいなど）を活用した啓発、その他庁内外関係機関との連携を通じての啓発の実施。

上記、支援者向け研修、ゲートキーパー研修、職域連携事業においてもその参加者へ啓発カードを配布し、周知を行った。

＜自殺未遂者支援での連携の機会＞

自殺未遂者ケア研修にて、研修後に参加者が交流できる時間を設定し、横のつながりのきっかけとすることができた。